

わのまちミーティング能代

報告書

主催：公益社団法人日本青年会議所東北地区協議会

共催：一般社団法人能代青年会議所

目 次

- 1、 事業概要
- 2、 事前アンケート結果
- 3、 ミーティングテーマ
- 4、 参加者名簿
- 5、 提案書

事業概要

開催趣旨

能代市の特性を活かした社会基盤の確立に向け、持続可能なまちを目指すべく、官民一体となり、民間から行政に提案するまちづくりを推進することを目的とした「わのまちミーティング」を開催しました。高度経済成長期に形成された日本の社会基盤は、老朽化による更新の時期を迎え多大な維持費用がかかるとともに、時代の変化により今後の地域社会にふさわしいものとは言い難い面もあります。こうした中、地域の特性を活かした社会基盤を確立するためには、より広いエリアで自由な発想のもと、能代市の未来について議論し、新たな社会基盤を構想する必要があります。我々は、未来を担う子どもたちが心から住みたいと感じられるよう、能代市について次代の青少年たちとともに議論する体制を構築し、地域の声をより反映させた地方整備計画を実現してまいりたいと考えております。

開催日

2019年6月22日（土） 13:00～16:00

場 所

能代市中央公民館 第2研修室

参加者

- ・ 能代市
- ・ 秋田県山本地域振興局
- ・ 国土交通省能代河川国道事務所
- ・ 能代市議会
- ・ 能代商工会議所
- ・ 能代市内高校生
- ・ (一社) 能代青年会議所
- ・ (公社) 日本青年会議所東北地区協議会

1 能代市の社会的要因に関する人口減少対策について（1）

背景

能代市内には多くの空き家・空き店舗が見受けられ、地域の活力低下が顕著であり、かつ市外から来た人たちのイメージも損ねていることが考えられます。

目的

地域の活力及びイメージの向上

改善手法

○空き店舗を活用した起業支援の実施

能代市では現在、空き店舗流動化支援事業を実施しているが、他の市町村でも類似の政策は多く存在しており、差別化をはかる必要がある。手厚い補助等で差別化をはかることもひとつの手法だが、地域特性を活かしたビジネスの起業に対する特別補助を行うなど、地域の特色が色濃くでるビジネスを積極的に支援し、市外の方々が訪れたいと思える地域をつくる。

○空き家を活用した移住定住の補助の充実化

能代市では現在空き家バンクを実施し、空き家の情報提供を行っている。市のホームページだけでは広く情報が伝播されていないと感じます。インスタグラムやツイッターなどのSNSを広く活用した情報発信を行うことにより、空き家バンクの存在が広く知られ、登録物件数や、利用者が増加すると考えられる。同時に、移住者のための補助制度もさらに充実させる。

1 能代市の社会的要因に関する人口減少対策について（2）

背景

能代市では、希望に合う勤め先が少ない、地域の魅力が低いなどのイメージがあり、若年層の人口流出が顕著である。

目的

若年層の人口増加

改善手法

○市内企業 PR の充実による若年者の地元就労者拡大

能代市内には多くの企業が存在している。その PR 不足から就労希望者への認知度が低いと考えられる。若年層への効果的な情報発信ツールとして、ホームページなどよりもインスタグラムやツイッターなどを活用した企業 PR が効果的であると考え。また、実際に企業訪問ができるバスツアーなどを継続的に開催し、就労希望者への市内企業 PR の充実を図ることも効果的である。

○能代市の魅力を広く発信し、交流人口増加を目指す

能代市には多くの観光地や豊かな自然がある。市外の方々への PR 不足が考えられる。現代の効果的な PR はインスタグラムやツイッターなどの SNS であると考え。いわゆる「インスタ映え」する写真を撮影しアップすることで、アクセス数も拡大する。SNS は全世界にも広がる有効な情報発信ツールであるため、積極的に活用することが効果的である。

2 防災・減災 安心して生活できる能代市の実現に向けて

背景

海岸に面しており、かつ大きな河川もある能代市にとって自然災害の脅威は永遠のテーマであります。安心して生活できる能代市をつくることと、災害に対する市民意識を変革することが必要であります。

目的

災害に強い能代市の実現
災害に対する市民意識の変革

改善手法

○災害時の非難方法の周知徹底

現在能代市では災害時のハザードマップや避難所の指定等は過去の災害の経験から正確なものが作成されている。それらが市民にしっかり周知されていないことが考えられる。高齢者が多く住む能代市においてそれらの周知徹底をはかる必要があり、その方法として以下の事項を提唱する。

- ハザードマップや避難所マップの大型看板の設置（市内に数箇所）
- ハザードマップや避難所マップを定期的に回覧板で配布
- コンビニやレストランなど人が多く行きかう商業施設への掲示
- 定期的な市民全体での防災訓練の実施

○平常時に有効活用できる非難施設の建設

災害時には避難所として活用できるが、平常時は商業施設や遊戯施設、観光施設として活用できる高層階の施設の建設が有効的であると考える。